

住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH200HB-7		
		仕様		標準仕様		
		適用号機		200H7-1101～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min ⁻¹	1730±10		
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	900±10		
		ローアイドルリング （冷却水温） （作動油温）	(℃) (℃)	(70～85) (45～55)		
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 （測定条件）	mm mm (℃)	—		
	圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）	MPa kgf/cm2 (℃) (rpm)	—			
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力	MPa kgf/cm2	コモンレール		
走行装置	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	6.0～8.0		
		[測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記	N・m kgf	ファン～オルタネータブリー間 98 10		
	走行性能	最高速度	秒	3.3～4.3		
	(クローラベルト)	ゴムベルト	張り (たわみ量)	mm	—	
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]			
		鉄シュー	張り (たわみ量)	mm	300～330	
[測定方法・条件 (図面番号表示)]						
リンクピッチの伸び			mm	190		
	[測定方法・条件]		(1リンク)			
	履板取付けボルト 締付けトルク	N・m kg・m	250～350 25.5～35.7			
	[測定方法・条件]					

住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH200HB-7	
		仕様		標準仕様	
		適用号機		200H7-1101～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 （測定時間） （作動油温） 作業装置姿勢 （図面番号表示） 荷 重	mm (分) (℃) kg・N	250 (10) (45～55) [図2参照]	
		シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	0～5
	アームシリンダ		mm	0～12	
	バケットシリンダ		mm	0～13	
	ブレードシリンダ		mm	－	
	（作動油温）		(℃)	(45～55)	
	作業機速度	ブーム上げ	sec	2.6～3.8	
		アームシリンダ伸ばし 縮め	sec sec	2.5～3.7 2.0～3.2	
			バケットシリンダ伸ばし 縮め	sec sec	2.9～4.1 1.6～2.8
		性能測定条件 （荷重・設定モード等）			（空荷/SPモード）
油圧装置		油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 ・油温 （設定モード等） ・エンジン	MPa kgf/cm2 (℃)	32.3～36.3 (50±5) (SPモード)
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	468～545 47.8～55.6	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	518～590 52.9～60.2	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	－ －	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	539.4～629.6 55.0～64.2	
			備考		

★印：新車基準値を表す。

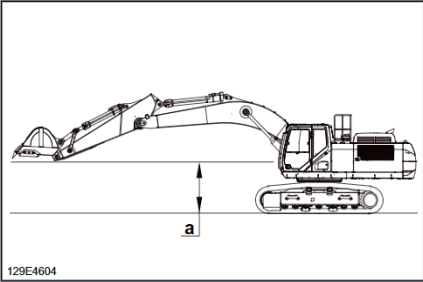
住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH200HB-7
		仕様		クレーン仕様
		適用号機		200H7-1101～
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	1回転の所要時間	秒	5.8～7.0

住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

項目	測定方法
作業機自然降下 SH200HB-7	シリンダ降下量 測定法 [1]油温 45 ° C - 55 ° C 測定前に各シリンダに油を回す。（測定前と測定後の油温を記入） [2]ブームフットピンとバケットピンの高さを同一とする。 アームシリンダは縮みエンド、バケットシリンダは開きエンド [3]エンジンは停止 [4]ブーム、アーム、バケットシリンダのロッドの伸び量または、縮み量を 10 分後に測定する。 [5]爪先の変位を 10 分後に各シリンダ移動量と一緒に測定する。 本体姿勢  a 同一高さ